

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2020年5月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL:03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町5-27-11
TEL:03-5947-4781 FAX:03-3923-4539



2022年2号(3-4月号)

特集 教科書に載っていない 「進まない分娩」の対応

正常に経過していたはずなのに、なぜか陣痛が弱くなる、手を尽くしても進行しない。そんな「進まない分娩」への対応、進まない時に必要なサポートを、開業助産師のワザや助産外来での実践、医師の視点から考えます。



2022年1号(1-2月号)

特集 COVID-19 流行下の 助産ケア

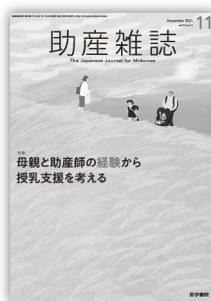
2020年以降、COVID-19が妊娠・出産にも大きなインパクトを与えました。そんな中でも、現場の助産師たちは、最大限のケアで女性と赤ちゃんを支えてきました。特集では感染拡大の状況下における、現場からの報告を中心に掲載します。



2021年12月号

特集 組織で育む助産実践能力 国立成育医療研究センターの助産師能力開発プログラム

国立成育医療研究センターが自施設の機能や特性、地域に果たす役割を踏まえて作成・運営している「助産師能力開発プログラム」。そのプログラム作成の経緯と全体像、各段階での研修の実践を紹介いたします。



2021年11月号

特集 母親と助産師の経験から 授乳支援を考える

助産師が行う母乳育児支援は、母親たちにどのような経験をもたらすのでしょうか。授乳が女性、赤ちゃん、家族に肯定的な意味を持つために、助産師は何かができるのでしょうか。母親・父親の授乳の経験と、助産師の授乳支援の経験を通して考えます。



2021年10月号

特集 母子と家族・社会をつなぎ止める、 オンラインの活用方法

感染予防をしながら、母親や家族のニーズに沿ったケアを提供するために、さまざまな現場でオンライン立ち会い出産や相談対応が取り組まれています。すでに導入されている現場から、実践のノウハウや事例、利用者の声を紹介していただきました。



2021年9月号

全妊婦への情報提供が始まる今
NIPTについて助産師が知っておきたいこと
全ての妊婦に対してNIPTの情報提供が始まり、検査を取り扱う医療機関も増えることが予想されます。助産師はどう関わっていけばよいのでしょうか？本特集では、今、女性が求めていること、助産師がそれに応えるために知っておきたいことについて解説します。

2021年 特集

8月号 妊婦も助産師も、冷え対策しませんか

7月号 後期早産児を産んだお母さんへの適切な支援とは

6月号 ガイドラインの改訂内容を解説！ ポジティブな出産体験のための推奨項目 56

5月号 切迫早産のより良いケアを模索する

4月号 産後うつを防ぎたい！

3月号 コロナ禍で必要な若年女性への支援とは？

2月号 妊婦・母親との会話で役立つ質問と受け答えのコツ